

PROGRAM NOTE

南米ふれあいの旅 <HCJBリスナーをたずねて・第三弾>

「アンデスの声」放送開始から32年目…

1996年はブラジル修好100周年、ボリビア移住40周年、ブラジル福音ホーリネス教団宣教70周年でした。その年7月にブラジルのサンパウロ郊外でブラジル福音ホーリネス教団宣教70周年記念大会が開かれることになり、私たちにもぜひ出席するように招待がありました。

会場では、榎元さん母娘が近づいてこられサイン帳に記帳されたあと、次のように話してくださいました。「私の主人は某宗教の熱心な信者でした。



ところが、「アンデスの声」の放送をききはじめてからはすっかりファンになり、その後、病に倒れ、死期が近づいたときも、ぜひ葬式はキリスト教でしてくれ。お前たちも「アンデスの声」の教えに従って生きていくようにと遺言をして亡くなりました。おかげさまで、娘も私も教会生活ができるようになりました。」

サンパウロ市内に林立する高層ビルを見下るす高台に立って、記念大会に出席され異名サムライと呼ばれている高島総元さんから劇的な回心談をおききました。「私は下級幹部として内地で敗戦を迎えた。当時の計画・指針がくずれてしまったので、やけくそになって私の兄がアマゾンに移住して



この大会は宣教70周年を記念すると同時にブラジルの日系人伝道を再考しようと行われたもので、記念式典には514人の出席者を得て恵みのうちに記念式典がもたれました。式典のなかでは、長年教団にてブラジル日系人伝道に心血を注いで引退される牧師や伝道者への感謝の式がありました。その労に感謝すべく、教団代表の牧師らが講壇を降り、涙ながらにブラジル慣習の抱擁をもって感謝をあらわす姿に一同大きな感動を感じました。特に、エクアドルからのHCJB日本語短波放送「アンデスの声」に対して、教団各地の教会が大きな祝福をいただいていることから盛大な拍手のうちに尾崎宣教師に特別の感謝が贈されました。

(当時のクリスチャン新聞より)

いたので呼び寄せてもらいました。ところが渡伯はしたもののジャングル生活になじめず自暴自棄になり、現地の強い酒にひたる毎日でした。そんな時、同僚の母親が聖書を下さったのですが、せっかく救いの手をさしのべてくれたのに、私の方は聖書を読むどころか、昼寝の枕がわりにして高いびきをかいていたのです。そんなときには「アンデスの声」と出会ったのです。どなたか覚えていませんが日本語放送があることを教えてくれたので、早速短波ラジオを買って聴き始めました。それはそれは良く聞こえました。サンパウロ市内の放送局よりも強くきれいに入ってきた。それ以来ずっと時間になるとスイッチを入れるのが習慣になりました。ブラジルには私のように「アンデスの声」をきかれて教



会に導かれた方々がたくさんおられます。」



サンパウロ州

サンパウロ州 (Estado de São Paulo) は、ブラジルの州。州庁所在地はサンパウロ。名前は、キリスト教の聖人パウロに由来する。州の略称は「SP」。州民はパウリスタと呼ばれる（サンパウロ市民の呼称はパウリスター）。

サンパウロ州は明治以降からの日本の移民、そして子孫である日系ブラジル人が最も多いところで、サンパウロ、アチバイア市などには特に多い。

国	ブラジル
最大の都市	サンパウロ
面積	248,209,426 km ²
人口 総計 (2005年)	40,490,757人

Source: Wikipedia

サンパウロの日本人街に近いところにあるクリスチャン・センター（創設者佐藤柱輔氏）で「アンデスの声」リスナーの集いをひらかせてもらいました。近郊から30名近くの方々が集って下さり、食事をしながら、ひとりひとりと親しく話し合うことができました。カンピーナスの実業家山本英雄さんは「アンデスの声」の放送案内を地元の新聞に掲載してくださり、ローカルでも日本語放送に協力しておられた方でした。

「私は、1968年5月に東京の淀橋教会で尾崎先生にお会いしました。その後、カンピーナスで放送するためのメッセージ・テープを提供していただいたことがあります。その頃には周辺4つの州に住む方々が熱心にきいてくださっていました。エクアドルからの「アンデスの声」は電波も強く、広い範囲にわたって本当にたくさんの方々がきいておられました。放送をきいて手紙を書く人はほんとうにごくわずかです。それでも、放送をきかれて教会に結びついた方々の数は数多くおられます。」



『南米ふれあいの旅』は、このような知らないところで放送をきいていた人や、私たちを待ちわびていた人たちとのさまざまな出会いの連続でした。一ヶ月間の巡回旅行でサインブックに書かれた人々の名前は300人を越えました。翌年、NHK番組コンクールに参加した番組が最優秀賞に選ばれ、NHKラジオ第一でも流されて大きな反響をよびました。見えない電波は私たちの目のとどかないところまでもとどきます。そして、その「声」は人々のこころ深くにまでとどくのです。

日本語放送担当

尾崎一夫



『サタデー・トーク』

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

9月 3日	南米ふれあいの旅（ブラジル篇）高島総元
9月 10日	南米ふれあいの旅（ブラジル篇）成松湘子
9月 17日	サンパウロ地区HCJBリスナーの集い（1）
9月 24日	サンパウロ地区HCJBリスナーの集い（2）

『バイブル・トーク』

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

9月 4日	
9月 11日	人生の道しるべ
9月 18日	(旧約聖書箴言・ソロモン王の知恵の書より)
9月 25日	

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間午前7時半～8時

（米国アリゾナ制作／オーストラリア送信）

放送周波数： 15525kHz 19mb

HCJB 日本語放送

新住所：HCJB（日本語放送）5701 N INDIAN TRAIL TUCSON AZ 85750 USA